第１回藤山中学校区地域協議会会議録

１　開催の日時及び場所
　令和８年７月２７日（月）１８：３０～２０：００
　鵜の島ふれあいセンター　２階　大会議室

２　傍聴者
　なし

３　出席者
　出席委員　　１４名（欠席委員1名）
　事務局職員　９名

４　次　第
（１）　開会
（２）　議事
　１　通学区域変更保護者説明会の実施報告について
　２　未来の学校づくり検討会の報告等について
（３）　その他

【未来の学校づくりについて】

（事務局）：７月５日と７月１１日に開催された『未来の学校づくり検討会』では、参加者が班ごとに意見を出し合いました。その意見を取りまとめた資料を掲示していますので閲覧していただき、各委員が重要だと考える点などについてお一人ずつ発表をお願いします。

（委　員）：私は、検討会当日両方に参加しました。鵜の島は、参観のみさせていただいた。藤山では、学校が近いので通学面での心配もなく「夢の国藤山ランド」というキャッチフレーズが子どもたちの班から出され、子ども達が行きたくなる学校、地域も大人も行きたくなる学校という意見が出ました。
一方で、鵜の島では通学の安全対策の意見が多く出されましたが、新しい学校ができるのは７年後なので、これからは、親の車での送迎も認めていき、学校に入る道路からロータリーを作って屋根もつけて雨が降っても、子供たちが濡れずに教室に行けるなどの設備も必要ではないでしょうか。また、朝は７時くらいから図書室で子ども達の受け入れをして、本を読んで待っていられるような環境を整えるなどすれば、鵜の島の方の不安感も払拭できるのではないかと感じました。

（委　員）：各班の意見を見て共通して大事だと考えられているのは「交流」。学年を超えた児童生徒の交流、地域の人たちや教職員も交流できることです。設備に触れてある班もあり、ランチルームを作って給食を一緒に食べる日を設ける、また、

学校の中に地域の方の職員室のようなものがあると良いという意見も印象的で、多目的に使用できる施設設計が必要かと感じました。また、教育に関しては、過去からある農学のような実体験と最新のＡＩを導入した新しい授業をまんべんなく学べる教育が必要と感じました。

（委　員）：学校行事のことが沢山書かれていました。運動会や文化祭など小・中合同でやれると良いと感じました。また、やはり登下校の安全が第一だと感じたので、地域の見守りなどがより、必要になってくると感じました。

（委　員）：みんなが集まる場所になるので、笑顔が生まれる場所、みんなの笑顔が集う場所になって欲しいと思います。「そこで共に学べる」ことがキーワードとして挙がっていました。世代を問わず学べる・学び直しができる場であることが重要です。図書室を充実させて学習スペースや読み聞かせ、イベントができるようにし、体育館は空調を整えて全天候型の大規模イベント会場としても使えるようにすると良いと感じました。みんなの夢が集まる学校になると良いと思います。

（委　員）：子どもたちはワークショップの進め方に慣れており、普段の思いをしっかり出せていて良かったと感じました。一方、鵜の島では通学がやはり大きな懸案だと改めて感じます。また、宇部市で初めてできる新しい学校が「こんなものか」と言われないようにしなければなりません。そのために次の２点を考慮していただきたい。

1点目は、三炭町あたりの子どもたちに安全で負担の少ない通学手段を確保すること。２点目は、 施設面で、必ずオープンスペースを設けること。学年単位や小中合同の集まりなど、体育館を使わずに集まれる場所が必要と考えます。

（委　員）：　両日オブザーバーとして参加しました。両地区に共通していたのは「一緒にやっていこう」という意識があることです。一方で、小学校がなくなることで鵜の島の不安が強まるため、その解消策を早めに詰める必要があると感じています。また、関心を示さない人が最後に不満を言われることがないよう、みんなが納得できる学校づくりを進めたいです。地域元気応援隊は始まって約５年で、今の子どもたちが将来親になったときにも行事を継続し、鵜の島の人とも交流できるよう、現世代が道筋をつけて次世代に引き継いでいきたいと思います。まだ時間はあるので、行事などを通じて連携を深めていきたいと思っています。

（委　員）：　いろいろな交流や連携が求められますが、特にこれまでにない「つながりづくり」が重要だと感じます。小学校の学習でつまずく中学生には、小学校教員による支援など学び直しの仕組みがあると良いです。また、地域開放は地域目線で、大人も集える場や仕掛けづくりを伴うべきで、たとえば、夏休みに図書室を開放する際は大人向けの本が配置できると利用が広がります。学校が生涯学習の拠点となるような理想を目指したいです。

（委　員）：　私は小・中学校を卒業してから時間が経っており、当時のイメージのままでしたが、今回のグループワークで「そんな発想があるのか」と驚くような新

しい意見に触れ、とても嬉しく感じました。運動場や遊び場は小１から中３までが使う場所なので、特定の学年や人だけがいつも使うことのないよう、定期的なローテーションなど利用ルールを設けてほしいと思います。
また、学校名を変える提案や、鵜の島エリアに複数の送迎車を出してほしいという意見が出たことも印象に残りました。

（委　員）：親としては、資源が豊富で土地が広い山口県に住んでいるのですから、畑づくりや理科での虫探しなど、この地域ならではの学びを大切に続けてほしいです。同時に、ＡＩに振り回されるのではなく、自分で上手に活用できる子どもに育てていただきたい。また、新しい学校が完成するまでの間は、藤山小と鵜ノ島小の同学年同士の交流を増やし、参観日などに保護者も参加できる機会を作って親同士も顔見知りになれるようにして欲しいです。
通学の安全対策については、皆さんの意見に賛成です。

（委　員）：大きく３つのキーワードが気になりました。1つ目は、「 安心・安全の確保 」についてです。具体的にはグラウンドの使い方や整備、通学路の安全対策の強化などです。２つ目は「経験の充実」です。中でも縦割り活動が子どもの交流や成長に寄与しているので続けていただきたい。また、地域との交流も大切と感じました。３点目は「施設整備」です。体育館の冷暖房、屋内プール、人工芝グラウンドなどの整備が望ましいという意見が多くあったと思います。

（委　員）：一通りの班の意見を踏まえると、教育方針は、あえて学校ではなく、『みんながつながり、学び合うまち』とするのが良いのではと思いました。「みんな」は小中学生だけでなく教職員や地域住民も含み、「学校」ではなく「まち」とすることで、地域の参画を促して互いに学び合うことにつながり、面白いのではないかと思いました。また、多くの班が通学の安全確保を課題に挙げていましたが、思い切った発想として通学を前提としない「行かなくてもよい学校」という視点も併せて検討してみてはどうでしょうか。

（委　員）：皆さんの意見とほぼ同じですが、特に「交流」を重視したいです。鵜の島は子どもが少ないものの、藤山中に行くと友達が増えて元気になるので、子どもはどんな場面でも交流していけると思います。問題は地域の大人の関わり方にあるため、学校と地域の交流を充実させることが必要だと思います。
また、中学校で学業につまずく子が多く、小学校での理解不足を隠して進んでしまう例もあるので、９年間という括りの中で、学び直しができ、中学校から小学校へ戻って学べるような仕組みがあったら良いと思います。そのためにも、施設面では、生徒用と地域用に多目的教室を設け、そこを交流と学びを一体的に行える場にすると良いでしょう。他には、通学路の安全確保や、鵜の島と藤山それぞれの良さを生かしたコミュニティづくりも求められます。

（委　員）：キーワードとしては「交流」と「安心・安全」では感じました。この２つは、基本コンセプトに入れていただきたいと思います。また、すでに２人の委員からもありましたが、学び直しができる場として早い段階で子どもをケアできる学校を目指すことです。高校現場では中学校や小学校で学んだことが理解でき

ていない子が沢山います。
その子ども達が、早い段階でケアができれば良いと思っていたので、小中の教員が近接していることを強みとして活かし、実現していただければと思います。施設設備の充実も教育方針と同等に大切です。予算面の課題はあるとはいえ、宇部市での初めての取り組みである以上、可能な限り整備に力を入れていただきたいと思います。そして何より大事なのは教職員のウェルビーイングです。先生たちが元気で働きやすい環境でなければ質の高い教育は実現しません。今後予定されている教員ワークショップで現場の意見を丁寧に取り入れ、また「先生が元気であること」を基本方針のキーワードとして明記してほしいです。

（会　長）：沢山のご意見が出ましたので、確認のために簡単に事務局で整理をしてみていただけますか。

（事務局）：主なキーワードとしては、「交流」「つながり」「施設設備の充実」「安心・安全」「学び直し」「ＡＩ・ＩＣＴ教育の充実」「教員のウェルビーイング」などが挙げられたと思います。今後、保護者アンケートも８月に予定していますので、検討会や本日いただいた委員の皆様のご意見に加え、アンケート結果も踏まえて教育委員会で検討し、基本コンセプト案を作成したいと考えています。

【その他について】

（委　員）：今後、基本コンセプトを作成する際のお願いですが、「小中一貫教育」と「単に同一敷地に小中があるだけ」との違いを明確に示してください。特に、９年間の連続性をどのように打ち出すのかをわかりやすく説明していただきたいです。またこれから、小・中学校の教職員による検討も行われると思いますが、この点が明確でなければ教職員間の協議も進みにくくなりますので、よろしくお願いいたします。

（委　員）：岩国東小中学校の視察の件ですが、前回予定されていた日は大雨により取りやめになりましたが、延期ではなく中止ということでしょうか。

（事務局）：先方からも、調整がつけばぜひお越しくださいと言われていますので、日程はまだ決まっていませんが、再調整をさせていただきたいと考えています。